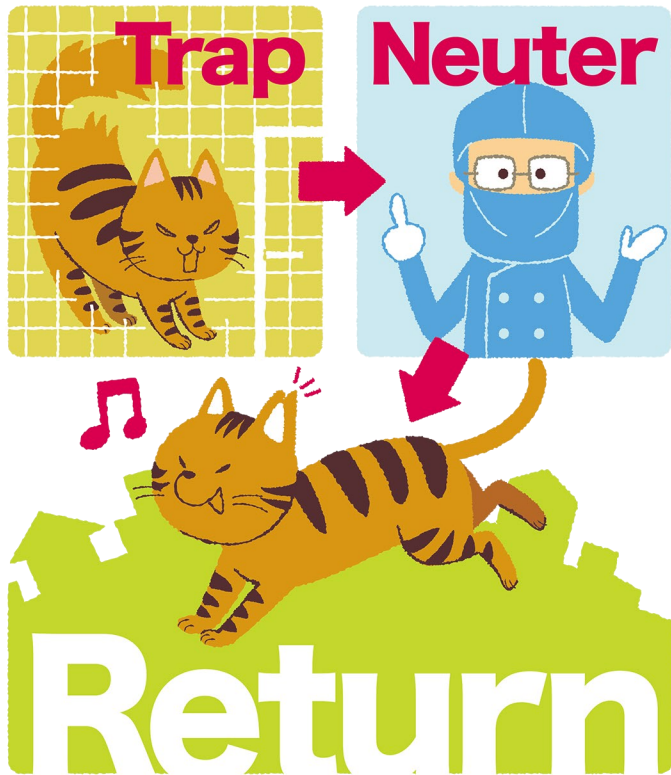


みんなで考えよう!動物愛護と適正飼育について 「地域猫」にご理解ください



TNR活動を知っていますか?

TNRとは、『Trap:トラップ(捕獲器)で野良猫を捕獲すること』『Neuter:ニューター(不妊手術のこと)』『Return:リターン(元の生活場所に戻してやること)』の頭文字をとった造語で、野良猫をこれ以上増やさないように一度捕獲し、病院で不妊手術を行い、また元の居場所に戻してあげてくれることをいいます。

人間が餌を与え続ける限り、野良猫はどんどん増えていき、困った方が警察に通報(そのまま保健所に連れて行かれます)という事例もとても多いことから、当NPOは『地域猫』というくりでTNR活動を推進しています。

生粋の野良猫はなかなか人には慣れることが難しく、家で飼うことが逆にストレスになる場合もあります。さらに寿命は家猫とは全く異なり、だいたい5年程度と言われています。

餌やりをする方は、地域住民の理解推進と、不妊去勢の責任もセットにして考えていただきたいと思っています。



無責任な餌やりは危険です

餌やりの多くの方が口にする「可哀想だから」という理由が、どんどん野良猫を増えさせ、子猫を産ませ増殖するという結果に繋がっています。

保健所に持ち込まれる猫の約半数が子猫というのも、最終的に困った餌やりの方が連れていく場合が多いということも悲しい事実なのです。当NPOでは捕獲器の貸し出しも行い、一匹でも多くの猫が繁殖しないようにするお手伝いをしています。



子猫だけでも譲渡する努力をしよう

不妊去勢が間に合わず、出産して生まれてしまった子猫たち。親が野良猫でも、小さいうちは次第に人に慣れさせることができるため、これ以上不幸な猫を増やさないうように、新しい飼い主さんを捜す努力をしてみませんか。ただ、野良猫の場合母子感染等で生まれながらにして猫エイズや白血病の子も多いため、譲渡前の血液検査はしっかり行ってください。